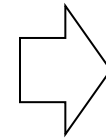


令和8年度全国学力・学習状況調査結果及び山形市の概況について

令和8年10月 山形市教育委員会

1 全国・県・市の結果（平均正答率）について ＜中学校（公立）＞

		国語	数学	英語
山形市		66	59	48.9
山形県		63	54	47.6
全国	平均正答率	63.9	57.0	49.9
	平均正答数	9.6問/15問	9.1問/16問	※



英語は、「IRT」に基づくスコアでの公表となりました。
「IRT」に関する詳細は、右側の二次元コードから
ご覧ください。

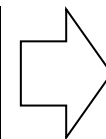


調査問題は、国立教育政策研究所のホームページで閲覧できます。
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

2 生徒質問紙の結果について

【学習に関わること】（当てはまる・やや当てはまる生徒の割合：％）

項目			山形市	山形県	全国
1	国語の勉強が好きだ		66.3	62.3	57.2
2	算数（数学）の勉強が好きだ		54.7	56.2	56.1
3	英語の勉強が好きだ		50.4	51.8	51.2
4	友達や周りの人の考えを大切に、 お互いに協力して課題を解決している		94.0	94.1	92.4
5	平日の家庭学習時間	30 分未満	11.6	18.2	18.4
		2 時間以上	24.5	18.3	30.1



【生徒自身に関わること】（そう思う・どちらかといえばそう思う生徒の割合：％）

	項目	山形市	山形県	全国
1	自分にはよいところがある	83.9	84.2	84.0
2	将来の夢や目標を持っている	69.8	70.3	67.6
3	いじめは、どんな理由があってもいけないことだ	96.4	96.1	95.1
4	人の役に立つ人間になりたい	97.0	96.7	95.9

【国語】

○ほぼすべての内容で、平均正答率が全国を上回りました。（特に「書くこと」で大きく上回りました。）

- ・全国を下回った内容は、「情報の扱い方に関する事項」。
- ・全国を最も下回った問題は、「単語の類別についての理解」を問う問題。

【数学】

○ほぼすべての領域で、平均正答率が全国を上回りました。（特に「データの活用」で大きく上回りました。）

- ・全国を下回った領域は、「数と式」。
- ・全国を最も下回った問題は、「事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てる」問題。

【英語】

●「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の領域で、平均正答率が全国を下回りました。

- ・特に「読むこと」の「自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取る」
- 「書くこと」の「事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く」などの問題。



※山形市の課題となった問題は、右側の二次元コードからご覧ください。

【生徒質問紙】

○「国語の勉強が好き」な生徒の割合が、全国を上回りました。

○友達や周りの人とのかかわりを大切にしながら、学習・生活していると考えられます。

△平日の家庭学習時間が、「30分未満」の生徒の割合は、全国を下回りましたが、「2時間以上」の生徒の割合も、全国平均を下回りました。

- 「数学の勉強が好き」「英語の勉強が好き」な生徒の割合が、全国を下回りました。
- 「将来の夢や目標を持っている」生徒の割合が、小学6年時の調査（81.1％）を下回りました。

【山形市の課題解決に向けて】

☆子どもの主体性を育む学習活動

- ・学校では、児童生徒が「課題を自分ごととして捉えること」「見通しをもって問題解決に取り組むこと」に力を入れて授業改善を図っていきます。学習の様子をぜひご家庭でも話題にいただければと思います。

☆学習におけるICT機器の積極的な活用

- ・AI型デジタルドリルソフトを活用して、「わかった」「できた」を増やしていきましょう。
- ・タイピングや検索などのスキルを高めていきましょう。

※令和9年度全国学力・学習状況調査（国語・数学の2教科）は、
タブレットを用いたオンライン形式で実施されます。

☆子どもとの温かいコミュニケーション

- ・「自分にはよいところがある」「いじめはいけないことだ」「人の役に立つ人間になりたい」など、ほとんどの生徒が自分自身や周りの人とのかかわりを大切に生活しています。これからも、生徒が周りの人と協調しながら、夢や目標に向かって前進できるように近くの方が支えていきたいものです。生徒が自分の思いや悩みを安心して話すことができる関係づくりを引き続き大切にしていきたいです。

＜AI型デジタルドリルソフトについて＞

- ・自分にあった問題が出題されます。
- ・豊富な問題が用意されています。
- ・採点や解説をしてくれます。
- ・つまづいた学年の問題に戻って学習することができます。

☆家庭学習でも積極的に活用しましょう。

子どもたちの健やかな成長と豊かな学びのために、今後も、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。